

「出会いを楽しもう！」

会長 高山 訓正



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

THE WEEKLY REPORT

2011~2012

TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2767回 例会

プログラム

津波記憶石プロジェクトの活動

No. 2606 4月26日(木)

次週以降の予定

5月3日(木) 休会

5月13日(日) 観桜会

5月17日(木) 今期旅行・島根県の旅

第2766回 例会報告

2012年 4月19日(木)

会長挨拶・報告



やっと春の便りが来たみたいで雪解けが進んでおりますが、まだ田畑には雪が残っており、日照時間も少なめで地表温度が上がらず農作業に遅れをきたしているそうです。

本日は、大田孝様をお迎えしての例会で、私たちが朝起きると一番にとる行動である新聞についての卓話で御座います。

今月のロータリーの雑誌月間で「友」誌にも掲載されておりますが、ホームページやフェイスブック、ツイッターなどインターネットを利用して書籍・雑誌など情報がどこにいても入手でき、我々会員が購読しておりますロータリーの友でも、印刷版や電子版がアメリカやカナダに出ています。新しい時代に向かって電子版の雑誌を発行している地域雑誌も課題もあるようですが、これからどうなるのかも教えていただければ幸いです。ですのでよろしくお願いし挨拶と致します。

会長報告

山田ロータリークラブ・やまだの作文実行委員会より作文集が届いております。皆様のテーブルに回します、詳しくお読みになりたい方は事務局にてお願いします。

幹事報告



1. 砂川RCより会報、赤平RCより5月の例会プログラムが届いております。
2. 滝川交通安全協会より、今月6日・10日・13日と3回行われました交通立哨の協力に関してお礼が届いております。また、ご参加いただいた会員の皆様ご苦労様でした。

委員会・同好会報告・会員情報



次年度幹事 川原 弘嗣 次年度幹事

先週の次年度委員会例会の席上で、次年度各委員会の活動計画書を5月11日までに提出をしていただくようお願いをしておりましたが、諸事情によりまして5月6日まで期限厳守でロータリー事務局宛にご提出を下さいますようお願い致します。



親睦活動委員会 小山 進 副委員長

本日6時から「ブラジル」で木曜フォーラムを行います。出席の方は忘れないようにお願いします。
観桜会のほうの出欠もまだ2、3名出ておりません。また変更のある方がいましたら至急連絡を下さい。



野球同好会 西田 浩二 主将

6月の甲子園についての最終打ち合わせを、本日行いたいと思いますので例会終了後2番テーブルに関係者はお集まりいただきますようお願いいたします。

先週のプログラム

☆国際奉仕委員会担当例会☆

ゲスト卓話



国際奉仕委員会 鷲尾 昌法 委員長

みなさんこんにちは。本日は国際奉仕委員会の担当例会です。今日のタイトルは「新聞の未来について」ということで御座います。事業趣旨については、明治以降近代に入り、情報の伝達が新聞、ラジオ、テレビ、インターネットへ進化することで速報性が増し、世界の情報がいち早く国民の目や耳にするとところとなりました。しかし一方で、信頼性などの問題がクローズアップされていきます。そんな環境の中、新聞各社もネットの利点をいかしイノベーションに取り組み、国民の知る権利を守るために生き残りを図っています。今、新聞は未来を見据え何処へ行くかとしているのか、日経の取り組みと、業界の動向についてご講演いただきます。続きまして、本日ご講演いただきます篠原昇司さんの略歴についてご紹介いたします。

【日本経済新聞社 札幌支社長略歴】

篠原 昇司(しのはら しょうじ)様
昭和35年(1960年) 7月13日生まれ 神奈川県出身
昭和58年(1983年) 東京大学 心理学科卒業
(原口総務大臣と同期)
昭和58年 日本経済新聞社入社
東京本社編集局の流通経済部、経済部記者として、流通産業、金融、経済官庁(通産省、外務省など)担当
平成9年 経済部次長
平成10年 日経B P社「日経ビジネス」副編集長
平成13年 経済部次長に昇る
平成14年 流通経済部次長
平成17年 仙台支局長
平成19年 東京本社 消費産業部長
平成20年 東京本社 日経M J(流通新聞)編集長
平成22年 東京本社 編集局次長 兼 日経M J(流通新聞)編集長
平成23年 東京本社 編集局次長 兼 夕刊編集長 兼 生活報道センター長(日経プラス1、ニュースクール担当)
平成24年4月から 札幌支社長
※平成23年~24年 日本記者クラブ企画委員

「未来の新聞について」



日本経済新聞社 札幌支社長 篠原 昇司様

今日は滝川ロータリー様の例会でお話しさせていただきますことを大変光栄に思っております。北海道に赴任してまだ20日ほどでいろいろと挨拶回りをしているところであります。

今日は「新聞の未来について」ということで、先程高山会長からお話しがあった、朝起きてすぐに新聞に目を通すという習慣が、最近の若い人は必ずしもそうではないということに起因して、新聞はこの先大丈夫なんだろうか、若い人は新聞を読まなくなってこれでいいのだろうか、紙の新聞は将来なくなってしまわないかという極論まででている昨今ではないでしょうか。そんな中で、私どもが取り組んでいる内容について少しお話をさせていただきます。

はじめにお話ししたいことは、未来の読者をつくる活動「NIE」ニュースペーパー イン エデュケーション教育現場における活動ということを行っております。小学校・中学校・高校に出向いていき教育の場でどのように新聞が活用できるかということを生先にお話しをしています。また、教室をお借りして新聞を読むとどんなことがいいのかという授業をさせてもらっています。日経新聞というと、株をやっている人とかビジネスに役立てる新聞というイメージがあるものですからなかなか学校の現場からすぐに理解していただけないことも多々あります。

つぎに、子供向けの新聞について購読層を広げたいという取り組みについてお話しします。ご存知の通り、去年学習指導要領が改訂され、子供達が文章を読んでよく考えて自分の考えをまとめて発表できる指導を強化していきたいという方針が示されました。その結果全国の学校で新聞を利用して子供達の読む力、考える力、発表する力というものを育てていこうという学校がたくさんあります。新聞各社のコラムが利用され、その文章を書き写すことで読解力や考える力を養おうとするものです。日経新聞も2011年秋から、子供向け新聞を発行しており、毎週土曜日付けに「ニュースクール」という紙面を設け、最近のニュースをわかりやすく読めるようにしています。また、初歩的な英語を使った紙面をはじめ掲載する試みを始めてます。さらに、子供達が将来どんな仕事につきたいか、そのためにどんな勉強をしたらいいかという仕事図鑑を掲載し、仕事への興味をそそる特集で構成しています。この子供向け新聞は、思ったより大人の方々からもご支持をいただき、わかりづらかった内容がよくわかるとか、教育熱心な保護者からも家庭で子供と一緒に読んで一緒に勉強しているというお手紙もいただいています。

つぎに、新聞を読む習慣について今の子供達は放っておくとなかなか新聞を読む習慣が身に付かないと言われてます。特に20代の若者は独立してから自宅に新聞を取らない、しかし、そういった若者はニュースを何処で知るかということ、携帯、パソコン上のニュースサイトで知るのですが、ニュースの内容はその程度でいいのではないかと感じている方が多くいるようです。ですから、新聞の購読世帯数は年々減り続けています。今、日本での新聞発行部数は約5千万部ですが、日本の世帯数が5千万世帯以上あるので、1世帯約0.9部程度です。全国的に見ると北海道はさらに購読世帯数が低く約0.7部

程度です。海外でも同様の現象にあり、業界の再編が起こり、日本でも将来その現象が起きてくるかもしれません。しかし、新聞に対する評価が去年の大震災の後変化してきています。新聞をよく読むようになった、新聞の情報は正確だと思った、新聞の役割を再認識した、など新聞に対する印象、評価は間違いなく向上しました。今後、新聞紙面の提供は、紙の新聞と電子新聞の複合メディアとして販売していく予定です。

また、文字の音読などは前頭葉を活性化し、脳の発達にも役立つ、高齢者の認知症の改善にもつながることが分かってきてます。これからの日経新聞は、硬いイメージの情報だけではなく、読者にとっておもしろく、分かりやすい紙面づくりをしていきたいと思っております。

木曜フォーラム報告

4月19日 午後6時 (場所: ブラジル)

卓話講師 柳 清二 会長エレクト

卓話テーマ ロータリアンの皆様へ



ニコニコBOX

高山 訓正会員

結婚記念日にお花をいただいて。

鈴木 英光会員

結婚記念日にお花をいただいて。

篠島 弘会員

滝川市医師会創立30周年記念の講演会・式典・祝宴を無事終えて。

野田 富夫会員

4月18日内祝いがあって。

鷲尾 昌法会員

担当例会を終えて!!

近藤 正孝会員

担当例会を終えて!!

会長/高山 訓正

幹事/宮崎 英彰

編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp

ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL (0125) 22-3344

FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。